星

寺田寅彦

天幕の破れ目から見ゆる砂漠の空の星、駱駝(らくだ)の鈴の音がする。背戸(せど)の田圃(たんぼ)のぬかるみに映る星、籾磨歌(もみすりうた)が聞える。甲板に立って帆柱の尖(さき)に仰ぐ星、船室で誰やらが欠(あく)びをする。

(明治三十二年十月『ホトトギス』)

底本：「寺田寅彦全集　第一巻」岩波書店
１９９６（平成８）年12月5日発行
入力：Nana ohbe
校正：松永正敏
２００４年3月24日作成
青空文庫ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。